

福島県郡山市富岡町生活支援ボランティアセンター『おだがいさまセンター』で、生活支援相談員対象「太巻き祭りずし作り方教室」を行いました。

6月15日の宮城県亶理郡亶理町に続き、千葉伝統郷土料理研究会の協力を得て、福島県郡山市富岡町で仮設住宅や借上げ住宅に居住されている方の生活支援活動等をされている方を対象に、「太巻き祭りずし作り方教室」を郡山市で開催しました。

1. 開催日時 平成27年7月2日(木)
午前の部 10:00~12:30
午後の部 13:00~15:00

2. 開催場所 富岡町おだがいさまセンター

3. 指導 千葉県伝統郷土料理研究会講師4名

4. 参加者 富岡町生活支援相談員等39名

5. 開催概要 富岡町おだがいさまセンターは、今年で3年目の開催で、履修者が講師になりいわき市内等で仮設居住者等を対象に、講習会を7回実施したとのことです。そして、今回も参加者一人一人が、太巻き祭りずしの基本的な文様の作り方や教え方をマスターし、履修後に講師となり被災地各所において、太巻き祭りずし作り方教室を開催して頂き、被災者の方々の食生活の支援等を目的に開催しました。教室では、初めに千葉伝統郷土料理研究会杉崎幸子先生より、太巻き祭りずしの多種多様な食材を逆さ絵で組み上げていく独特な手法などが紹介されました。



実習では、具体的な文様の巻き方や、実際に指導することを想定し、文様ごとの指導のポイントについても、教えて頂きました。特に今回は、昨年参加された方から、もう少し難しい文様にも挑戦してみたいという希望を受け、2つのコースに分けて実施してみました。

今回初めて参加する方は、太巻き祭りずしの「渦巻きの手法」で作る「薔薇の花」、「極細巻きの手法」で作る「桃の花」の2種、2回目参加の既修者の方は、「渦巻きの手法」で作る「文銭巻き」、「つみあげの手法」で作る「満開の桜」を1本ずつ巻きました。特に、「満開の桜」は少し難易度の高い文様ですが、郷里の富岡町には夜ノ森にみごとな桜の名所があり、桜に対する思い入れがとても深いとお話をきいておりましたので、今回の実習に取り入れてみました。

難しい手法にもかかわらず、作り方を習得しようと真剣に取り組んでいました。また、午後の実習中におだがいさまセンターに中学生の社会科見学があり、千葉県の郷土料理である「太巻き祭りずし」についてもふれる機会ができ、熱心にメモをとるなどして見ていました。

今回初めて参加する方には、講師として活躍して頂くために、太巻き祭りずし特製巻きすのほか、参考書として「太巻き祭りずし作り方の本」を贈呈するとともに、おだがいさまセンターにも、太巻き祭りずし講習会用として、すし粉やレシピ集を寄贈し、大変喜ばれました。

